

倫理 授業 No.2 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

アイデンティティ確立の目的と手段とは？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書P. 10～11の中から見つけよう！

アメリカ合衆国の心理学者（ 1 ）は、自分がつねに同一の自分であるという、自分についての一貫した自覚をもつことをアイデンティティ（＜ 2 ＞同一性）と呼んだ。「自分とは何者か」という問いにこたえ、自己のアイデンティティを確立することが、（ 3 ）期の発達課題である。

「自分は今、ここで、何をしているのだろうか？」と問いかけることは、それだけ精神が成長した証しである。しかし、ただ何となく毎日を過ごしているだけでは、自分の存在感が薄れ、（ 2 ）意識が解体する危機におちいる。このような危機を乗り越えるためには、第一に、自分は何をめざして生きているのかを考え、将来の目標や生きる意義を見つけることが大切である。自分が向かう目的を見つけ、将来への方向性を見定めて、未来に向かって（ 4 ）した姿勢で生きるのである。第二には、学校や社会の中で、自分のはたすべき役割や使命を見つけ、自分の居場所を確保することである。（ 5 ）との関係の中で自分の役割をはたし、他者から必要とされ、社会の一員として承認されることによって、自己の存在意義を感じることができる。

<記入欄>

- 1 () 2 () 3 ()
4 () 5 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「アイデンティティ確立の目的と手段とは？」

T. A.

[①]期の若者には、まだ自分がどのような人間なのかについて確信や将来の展望がなく、自己否定的になったり、アイデンティティの[②]（拡散）に陥ることがある。そこでアイデンティティ＝[③]同一性を確立し自己を形成するために、「…としての自分」を場面ごとに使い分けつつ、自分ならではの独自性や[③]の[④]性を保とうとする。

<記入欄>

- ① [] ② [] ③ []
④ []

[]年 []月 No. [] 氏名 []